



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2022年  
1月26日  
発行

## 第120回 「山中一郎氏の思い出とバリュース株投資」

### 初めに

自分は1984年に大和証券に入社、1986年に大和投資顧問（現三井住友DSアセットマネジメント）に転籍しました。その時にお世話になったのが、大和証券で副社長を務めておられた山中一郎氏です。今回は山中氏との思い出を振り返りながら、最近の株式市場の下落について考えます。

### バリュース株投資

山中氏は厳しい方でしたが、若手に対しては親切にしてくださっており私も色々教えてもらうことができました。山中氏が大和投資顧問に来られたのはバブルが崩壊して間もない頃だと思いますが、ある日山中氏と私ともう一人若手が呼び出されたことがありました。その時山中氏がおっしゃったのは「日本株はもう上がらない」ということでした。この言葉を聞いた時、自分はびっくりしました。今はそんなことはありませんが、当時は証券会社の社員と言えど強気一辺倒で弱気を言うのはご法度という雰囲気もありました。まして山中氏の立場の方からこうした発言が出るとは考えたこともありません。続けて山中氏は言いました。「これからは、バリューだ。」これが私にとってのはじめてのバリュース株投資との出会いでした。

バリュース株投資は、利益や資産などと比較して割安に放置されている株式に投資する手法です。下がった株に投資することが多くなるので、逆張り投資と似た結果になります。また相場が弱い時に有効な投資手法とも言われています。

さらに山中氏は言いました。「国内ではバリュー、海外ではアジアだ。」当時はまだ天安門事件の記憶が色濃く残っており、証券業界でアジアに注目する方は少なかったと思います。結果は山中氏の言った通りになりました。日経平均は今になっても1989年の最高値を超えることができず、一方中国をはじめアジア各国の経済は目覚ましい発展を遂げました。山中氏は「俺の言った通りだろう。」と笑っているような気がします。

今、世界の株式市場は大荒れです。バブルの崩壊といった声も出ています。自分は考えます。山中氏なら何と言うだろうと。



チーフストラテジスト  
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あつせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。